



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社 シンニッタン
コード番号 6319 URL <http://snt.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 諭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小林 謙治

TEL 044-200-7812

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,199	29.8	755	0.5	860	4.1	519	3.8
29年3月期第2四半期	7,860	12.2	758	0.3	826	11.0	539	15.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,407百万円 (%) 29年3月期第2四半期 56百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.15	
29年3月期第2四半期	21.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	39,666	30,295	76.0
29年3月期	37,796	29,236	77.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 30,144百万円 29年3月期 29,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		14.00	14.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 30年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定となっております。配当予想の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	18.4	1,700	8.6	1,850	0.9	1,200	12.3	48.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	27,500,000 株	29年3月期	27,500,000 株
30年3月期2Q	2,935,481 株	29年3月期	2,935,411 株
30年3月期2Q	24,564,550 株	29年3月期2Q	25,429,600 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）のわが国経済については、雇用環境他の改善等により、個人消費ならびに企業の設備投資も持ち直しが続き、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、わが国をとりまく世界経済については、米国や欧州の一部の地域では景気は引続き緩やかな回復基調が続き、中国ならびにアジア地域においても景気の持ち直しの動きが見られましたが、米国新政権の政策動向に対する懸念や地政学的リスクの高まり等、引続き先行きの不透明な状況も続きました。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第2四半期の売上高は、本年1月に当社グループ入りした株式会社セイタン（以下「セイタン」という。）の業績寄与もあり、前期比23億39百万円増加の101億99百万円となりました。利益面は、売上高の増加がありましたが、営業利益では、建機事業ならびに物流事業での売上減少の影響を受け、営業利益は前年同四半期比3百万円減少の7億55百万円、経常利益では、受取配当金が増加したことと前期計上した為替差損がなかったこともあり、前年同四半期比33百万円増加の8億60百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益では、主に金属製パレットの製造を行っていた中国子会社の撤退を受け、これに関わる費用として関係会社整理損失引当金繰入額42百万円を特別損失として計上したこともあり、前年同四半期比20百万円減少の5億19百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、既存の各社においては、鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業の海外生産拡大による現地調達化の基調は続いており、国内自動車産業向けの鍛造品は引続き伸び悩んでおります。また、当社主力の大型部品の引き合いは一部取引先の調達ルートの変更もあり依然として強くない状況が続きました。一方、海外子会社の市場であるタイ国の自動車産業においては、景気の停滞感があるものの、底打ち感も見られ、当社鍛造品はほぼ横這いで推移しました。また、建設機械産業においては、中国市場・ロシアにおける建設機械需要の回復ならびに資源価格の持ち直しによる鉱山機械関連の回復が一部で見られ、関連する鍛造部品は増加いたしました。なお、新たにグループ入りしたセイタンの業績については、鍛造セグメント業績に寄与いたしました。

以上から、売上高は前年同四半期比24億91百万円増加の85億14百万円、営業利益は前年同四半期比35百万円増加の7億17百万円となりました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏での再開発事業や社会インフラの改修整備等から、仮設機材の需要は引続きあるものの、機材保有量の高止まりや建設関連職人の人手不足問題ならびに人件費の高騰による建設工事の一部見直し等で着工が弱含みで推移した事で、関連する仮設機材の販売・リースは減少しました。売上高は前年同四半期比1億32百万円減少の10億75百万円、営業利益は前年同四半期比38百万円減少の1億68百万円となりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、主要顧客である自動車会社において、引続き海外生産の進行等の影響を受け、低位で推移しました。売上高は前年同四半期比33百万円減少の5億22百万円、営業利益は前年同四半期比39百万円減少の14百万円となりました。

不動産事業の売上高は、主要ビルの改修工事完了による新たなテナントの入居もあり、前年同四半期に比べ13百万円増加の88百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億14百万円増加し、190億68百万円となりました。

これは、売上増加に伴い受取手形及び売掛金が2億3百万円、棚卸資産が1億27百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ13億55百万円増加し、205億98百万円となりました。これは、鍛造事業の高萩工場の建屋改修工事ならびにタイ子会社のアクスルシャフト第3ライン新設ならびに既存ライン改造等で、有形固定資産が2億17百万円増加したことと、株価上昇等により投資有価証券が11億35百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ18億69百万円増加し、396億66百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億6百万円増加し、71億74百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が69百万円、未払法人税が75百万円減少し、一方、電子記録債務が3億46百万円、固定資産購入支払手形が1億18百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億3百万円増加し、21億96百万円となりました。これは、株式時価上昇による投資有価証券の増加に伴い繰延税金負債が3億40百万円増加したことと中国子会社の撤退を受け関係会社整理損失引当金42百万円を計上したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億59百万円増加し、302億95百万円となりました。これは、配当金支払で剰余金が減少しましたが、当第2四半期累計で親会社株主に帰属する四半期純利益を5億19百万円計上したことと投資有価証券の増加によりその他有価証券評価差額金が7億74百万円増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より32百万円増加し、95億98百万円となりました。

各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益7億59百万円計上ならびに減価償却を5億46百万円実施したこと等により、8億31百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得等により、5億48百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、配当金の支払い等により、2億95百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、平成29年5月15日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,566,116	9,598,802
受取手形及び売掛金	3,667,332	3,870,708
電子記録債権	913,077	989,788
製品	1,565,003	1,713,005
半製品	93,452	113,666
仕掛品	1,017,438	1,060,707
原材料及び貯蔵品	906,368	822,300
その他	824,871	899,666
貸倒引当金	△376	△405
流動資産合計	18,553,284	19,068,240
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,094,335	6,097,911
その他(純額)	7,082,277	7,295,813
有形固定資産合計	13,176,613	13,393,725
無形固定資産	44,074	49,702
投資その他の資産		
投資有価証券	5,601,459	6,736,870
その他	433,315	430,172
貸倒引当金	△12,080	△12,080
投資その他の資産合計	6,022,695	7,154,963
固定資産合計	19,243,382	20,598,391
資産合計	37,796,667	39,666,631

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,736,037	3,666,080
電子記録債務	652,982	999,200
短期借入金	1,187,500	1,240,000
未払法人税等	331,774	256,206
賞与引当金	169,487	210,903
その他	589,763	801,762
流動負債合計	6,667,545	7,174,152
固定負債		
役員退職慰労引当金	109,923	115,518
環境対策引当金	198,230	198,230
関係会社整理損失引当金	—	42,884
退職給付に係る負債	701,039	614,180
その他	883,715	1,225,756
固定負債合計	1,892,908	2,196,570
負債合計	8,560,454	9,370,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,647,746	6,647,746
利益剰余金	14,984,245	15,159,764
自己株式	△1,797,740	△1,797,790
株主資本合計	27,090,974	27,266,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,144,735	2,919,720
為替換算調整勘定	△147,435	△41,536
その他の包括利益累計額合計	1,997,300	2,878,184
非支配株主持分	147,937	151,279
純資産合計	29,236,212	30,295,908
負債純資産合計	37,796,667	39,666,631

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,860,401	10,199,913
売上原価	6,505,738	8,643,926
売上総利益	1,354,663	1,555,986
販売費及び一般管理費		
従業員給料	139,872	199,258
運賃	114,772	181,717
その他	341,046	419,990
販売費及び一般管理費合計	595,692	800,966
営業利益	758,971	755,019
営業外収益		
受取利息	19,583	20,696
受取配当金	48,131	63,448
その他	46,779	54,687
営業外収益合計	114,493	138,833
営業外費用		
支払利息	3,252	4,752
金型廃棄損	5,538	25,263
為替差損	34,027	—
その他	3,936	3,625
営業外費用合計	46,755	33,641
経常利益	826,708	860,211
特別利益		
固定資産売却益	3,775	—
特別利益合計	3,775	—
特別損失		
固定資産処分損	51,952	36,600
たな卸資産処分損	—	21,133
関係会社整理損失引当金繰入額	—	42,884
特別損失合計	51,952	100,617
税金等調整前四半期純利益	778,532	759,593
法人税、住民税及び事業税	240,489	254,036
法人税等調整額	△7,414	△19,005
法人税等合計	233,074	235,031
四半期純利益	545,457	524,562
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	539,739	519,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,718	5,138

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	302,923	774,985
為替換算調整勘定	△905,091	108,069
その他の包括利益合計	△602,168	883,054
四半期包括利益	△56,710	1,407,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,522	1,400,308
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,188	7,308

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	778,532	759,593
減価償却費	443,860	546,678
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44	28
受取利息及び受取配当金	△67,714	△84,145
支払利息	3,252	4,752
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,139	41,415
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15,541	△86,858
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,977	5,594
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	42,884
売上債権の増減額 (△は増加)	△713,691	△265,323
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3,775	△119
有形固定資産処分損益 (△は益)	51,952	36,600
たな卸資産の増減額 (△は増加)	273,124	△86,326
仕入債務の増減額 (△は減少)	315,375	259,375
その他	172,695	△121,052
小計	1,275,232	1,053,098
利息及び配当金の受取額	67,774	84,137
利息の支払額	△3,252	△4,752
法人税等の支払額	△49,589	△300,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,290,165	831,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,575,665	△523,181
有形固定資産の売却による収入	4,500	224
無形固定資産の取得による支出	—	△5,627
投資有価証券の取得による支出	△25,314	△20,324
その他	5,777	255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,590,703	△548,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	57,000
長期借入金の返済による支出	△8,400	△4,500
配当金の支払額	△363,247	△343,904
非支配株主への配当金の支払額	△3,798	△3,966
自己株式の取得による支出	△480,948	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△956,394	△295,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	△313,529	44,890
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,570,461	32,686
現金及び現金同等物の期首残高	10,404,162	9,566,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,833,700	9,598,802

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,022,182	1,208,063	555,333	74,822	7,860,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,022,182	1,208,063	555,333	74,822	7,860,401
セグメント利益	681,050	206,926	54,108	32,140	974,226

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	974,226
全社費用(注)	△215,255
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	758,971

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	8,514,056	1,075,248	522,169	88,438	10,199,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,514,056	1,075,248	522,169	88,438	10,199,913
セグメント利益	717,028	168,428	14,797	45,503	945,759

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	945,759
全社費用(注)	△190,739
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	755,019

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。